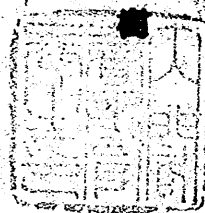


内閣閣甲第二八九號

昭和十八年九月十三日

内閣書記官長 星野直



書記官長

樞密院書記官長 堀江季雄殿

書記官

記

左記ノ件本日大官會議ニ於テ別紙ノ通決定 致候條此段通牒ニ及ビ候

一 國又ハ都廳府縣ニ於ケル勞務調整令第八條ノ二ニ依リ雇入、使用等ヲ

禁止又ハ制限セラルル職種又ハ業種ニ從事スル男子ノ雇入及使用ニ關

スル件

一 女子勤勞動員ノ促進ニ關スル件

一〇九

秘

國又ハ都廳府縣ニ於ケル勞務調整令第八條ノ二ニ依リ雇入、使用等ヲ禁止又ハ制限セラルル職種又ハ業種ニ従事スル男子ノ雇入及使用ニ關スル件

國又ハ都廳府縣ニ於テ勞務調整令第八條ノ二ニ依リ雇入、使用、雇入及從業ヲ禁止又ハ制限スル職種又ハ業種ニ従事セシムル男子ハ左ニ依リ之ヲ措置スルモノトスルコト

一、國及都廳府縣ニ於テ勞務調整令第八條ノ二ニ依リ男子從業者ノ雇入、使用、雇入及從業ヲ禁止又ハ制限セラルル職種又ハ業種ニ従事セシムル男子ノ雇入及使用ハ勞務調整令第八條ノ二並ニ勞務調整令施行規則第十條ノ二ノ規定ニ依ル告示ノ定ムル所ニ準ジ之ヲ爲スコト

二、國及都廳府縣ニ於テ前號ニ依リ男子從業者ヲ解雇メントスルトキハ速カニ國民職業指導所長ニ聯絡スルコト

三、一二依リ生ズル缺員補充ノ爲女子等ノ斡旋ヲ國民職業指導所ニ求メントスルトキハ所定ノ様式ニ準ジ其ノ所要員數ノ申込ヲ爲スコト

秘

◎厚生省告示第 號

勞務調整令施行規則第十條ノ二第二項ノ規定ニ依ル男子従業者ノ  
雇入使用就職及従業ヲ禁止又ハ制限スル事項、年月日及其ノ範圍  
左ノ通指定ニ

昭和十八年 月 日

厚生大臣 小 泉 親 彦

禁 止 職 名	禁止年月日	禁止範圍
學務補助者 一 級事務ノ補助ヲナス者ニシテ主トシ左記ノ類 務ニ従事スル者 一 文書ノ受付、發送、仕舞 二 文書、カード、圖書、資料等ノ保管、消毒、 檢査 三 文書、カード、圖書、圖書、資料等ノ分類、 整理、出納 四 所定ノ方法形式ニヨル傳票、カード、帳簿等 ヘノ記載 五 所定ノ方法形式ニヨル傳票、帳簿、諸計表等 ノ集計又ハ計算 六 傳票、證票、カード、乘算表、諸計表ノ照合 檢査 七 所定ノ方法形式ニヨル證票、乘内書、通知書、 請求書、報告書、諸計表等ノ記載 現金出納係 現金出納係ニ依リ主トシテ現金ノ計算出納ノ業 務ニ従事スル者	昭和十九年三 月十五日	十四年以上 四十年以下
	昭和十九年一 月十五日	十四年以上 四十年以下

小使、給仕、受付係	官公署、工場、會社、銀行、學校、病院、事務所等ニ於テ警備ノ運搬、受付、番附、其ノ他ノ業務ニ従事スル者	明治十九年一月十五日	十四年以上 四十年以下
物品販賣業ノ店員賣子	賣店賣場等ニ於テ客ニ接シ主トシテ商品ヲ販賣スル業務ニ従事スル者	明治十九年一月十五日	十四年以上 四十年以下
行商、呼賣	行商、呼賣ノ業務ニ従事スル者	明治十九年三月十五日	十四年以上 四十年以下
外交員、註文取	保險、銀行、商店等ニ於テ外交又ハ註文取ノ業務ニ従事スル者	明治十九年三月十五日	十四年以上 四十年以下
現金人	代金、料金、會費等ノ現金事務ニ従事スル者	明治十九年三月十五日	十四年以上 四十年以下
電話交換手	電話交換ノ業務ニ従事スル者	明治十九年三月十五日	十四年以上 四十年以下
出立札係	常備車等、入場券、其ノ他切符類ノ販賣又ハ之ガ收領ノ業務ニ主トシテ従事スル者 但シ常時荷役電信又ハ運轉ノ業務ヲ併セ行フ者ヲ除ク	明治十九年三月十五日	十四年以上 四十年以下
車掌	電車及聯合自由車ノ車掌但シ荷役車掌及高速度車掌ノ後部車掌ヲ除ク	明治十九年三月十五日	十四年以上

階切手	鐵道鐵道ニ於ケル階切ノ警備但シ市街地ニ於ケル交通機關ナル階切ノ警備ヲ除ク	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下
昇降機運転係	鐵道中ニ備付ケラレタル昇降機ニシテ專ラ人ノ昇降ノ用ニ供セラルルモノノ運轉ノ業務ニ従事スル者	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下
警備、客引	鐵道、料運所、貨物等ニ於テ客ノ接待其ノ他ノ業務ニ従事スル者	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下
給仕人	旅館、料運所、飲食場等ニ於テ客ノ料理食事ノ給仕其ノ他ノ業務ニ従事スル者	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下
料理人	旅館、料運所、飲食場、工場、會社、病院等ニ於テ飲食料理、嗜好品等ノ調理料理ノ業務ニ従事スル者	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下
理髮師、美容師	男女ノ理髮、化粧、美容等ノ作業ニ従事スル者 (助手ヲ含ム)	明治十九年五月十五日	十四年以上 四十年以下

携帶品預り係  
 百貨店、映画館、料理店等ニ於ケル携帶品預  
 け、案内係、下  
 足番

右ノ取組ニ従スル場合ト雖モ海上勤務者ハ之ヲ除ク

二十九年一  
 月十五日  
 十四年以上  
 四十年以下

# 秘 考

勞務調整令施行規則第十條ノ二ノ男子従業者ノ従業等禁止職指指定案

禁 止 職 名 例 示

猶豫期間並禁止

出 務 者

事務補助者

一 收銀事務ノ補助ヲナスモノニ  
シテ主トシテ左記ノ業務ニ従  
事スルモノ  
一 文書ノ受付、發送、仕譯  
ニ 文書、カード、圖書、資料  
等ノ整理、貯藏、檢査  
三 文書、カード、圖書、圖書  
資料等ノ分類、整理、出納  
四 所定ノ方法形式ニヨル傳票  
カード、帳簿等ヘノ記載

文書係、通信係等  
調査係、統計係、人事係、  
勞務係、登錄係等  
頂金係、監督係、證券係、  
出納係、整理係、會計係、  
庶務係、販賣係、契約係、  
人事係、勞務係、登錄係等

六ヶ月間十年  
未 滿 者

五 所定ノ方法形式ニヨル傳票  
帳簿、諸計表等ノ兼計又ハ計  
算

六 傳票、証書、カード、契單  
券、諸計表等ノ照合檢査

七 所定ノ方法形式ニヨル證券  
契單、通知書、請求書、  
報告書、諸計表等ノ記載

出 改 札 係

八 所定ノ方法形式ニヨル證券  
契單、通知書、請求書、  
報告書、諸計表等ノ記載

計算係、頂金係、爲替係、  
證券係、出納係、整理係、  
會計係、用度係、人事係、  
勞務係、工務係、統計係、  
調査係等

九 傳票、對表係、證券係、  
契約係、計算係等

販賣係、契約係、證券係、  
文書係、人事係、勞務係、  
調査係、統計係、工務係等

六ヶ月間十年  
未 滿 者

商業的作業者

物品販賣業 ノ店員賣子	賣店賣場等ニ於テ客ニ接シ主 トシテ商品ヲ販賣スル業務ニ 従事スル者	四ヶ月 未滿 者
現金出納係	現金出納等ニ依リ主トシテ現 金ノ計算出納ノ業務ニ従事ス ルモノ	四ヶ月 未滿 者
外交員、註 文取	保険、銀行、商店等ニ於テ外 交又ハ注文取ノ業務ニ従事ス ルモノ	六ヶ月 未滿 者
榮金人	代金、料金、會費等ノ榮金屬 務ニ従事スル者	六ヶ月 未滿 者
行商、呼賣	行商、呼賣ノ業務ニ従事スル モノ	四ヶ月 未滿 者
商店（露店ヲ含ム）、百貨 店、購買組合等ノ店員、番 頭、賣子、販賣員、小僧、 手代	外交易員、外交係、外務員、 募集員、新聞販賣等ノ出張 員、勧誘員	四ヶ月 未滿 者
榮金人、榮金員	吳服、小間物、賣藥等行商 使用人、呼賣使用人、新聞 賣子、劇場等中賣、屋立賣人	六ヶ月 未滿 者

番頭、客引	旅館、料理店、飲食店、貸席 業務ニ於テ客ノ接待其ノ他ノ 業務ニ従事スル者	四ヶ月 未滿 者
精仕人	旅館、料理店、飲食店等ニ於 テ客ノ料理食料ノ精仕其ノ他 ノ業務ニ従事スル者	四ヶ月 未滿 者
料理人	旅館、料理店、飲食店、工場 賣店、病院等ニ於テ飲食料品 嗜好品等ノ調理料理ノ業務ニ 従事スル者	六ヶ月 未滿 者
理髮師、髮 結、美容師	男女ノ理髮、髮結、美容等ノ 作業ニ従事スルモノ（助手ヲ 含ム）	六ヶ月 未滿 者
理髮師、理髮職、美容師、 美容術師、着附師、髮結師 剃夫、右同弟子、徒弟、見 習、助子、小僧、手助、梳 手、カツラ職	料理人、コック、板場、板 前、コック見習、助手、炊 事夫、壽司及天ぷら職人、 司厨	六ヶ月 未滿 者

運搬運搬作業者

車掌	電車及聯合自動車ノ車掌但シ荷扱車掌及高速度電車ノ後部車掌ヲ除ク	電車車掌、聯合自動車車掌、車掌補、車掌見習	ハケ月四十 年未滿者
踏切手	鐵道軌道ニ於ケル踏切ノ看守但シ市街地ニ於ケル交通頻繁ナル踏切ノ看守ヲ除ク	鐵道踏切看守、線路踏切番	ハケ月四十 年未滿者
昇降機運轉係	建築物中ニ備付ケラレタル昇降機ニシテ尋常人ノ昇降ノ用ニ供セラルルモノノ運轉ノ業務ニ従事スルモノ		ハケ月四十 年未滿者

通信作業者

電話交換手	電話交換ノ業務ニ従事スルモノ	電話交換手、電話係、電話員	ハケ月四十 年未滿者
-------	----------------	---------------	---------------

其ノ他ノ作業者

小便、給仕 受付係	工場、會社、銀行、學校、病院、事務所等ニ於テ警備ノ運搬、受付、掃除、其ノ他ノ雜務ニ従事スルモノ	工場、會社、銀行、學校、病院、事務所等ノ小便、便丁、給仕、掃除夫、受付係	ハケ月四十 年未滿者
勞務品預り 係、案内係 下足番	百貨店、映画館、料理店等ニ於ケル勞務品預り係、案内係、下足番作業ニ従事スルモノ	百貨店、映画館、驛、劇場等席、遊園場、博物館等ニ於ケル案内人、勞務品預り係、觀礼係、下足番	ハケ月四十 年未滿者

(註)一、右ノ職種ニ従事スル場合ト雖モ海上勤務者ハ之ヲ除ク

二、兩及道府縣ノ雇入使用ニ付テハ政府部内ノ自律的措置ニ依リ一般ノ場合ト均衡ヲ保持セシムル様別途甲合セテ爲スモノトス

秘

勞務調整令關係法令沿革

勞務調整令

第八條ノ二 厚生大臣又ハ地方長官（東京都ニ在リテハ府視廳總監以下同ジ）必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ業種又ハ職種ヲ指定シテ男子従業者ノ雇入、使用、就職及従業ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

勞務調整令施行規則

（第五條第一項第九號第十條ノ二第一項但書ノ規定ニ依リ國民職業指導所長ノ認可アリタル技能者ノ雇入及就職ノ場合

（第六條第一項第八號第十條ノ二第一項但書ノ規定ニ依リ國民職業指導所長ノ認可アリタル國民學校修了者ノ雇入及就職ノ場合

（第十條第一項第八號第十條ノ二第一項但書ノ規定ニ依リ國民職業指導所長ノ認可アリタル一般青壯年ノ雇入及就職ノ場合

（第十條第一項第九號第十條ノ二ノ規定ニ依リ厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ業種又ハ職種ノ指定ヲ爲シタル當時ニ於テ當該業種又ハ職種ニ使用及従業ヲ禁止又ハ制限セラレタル男子従業者ノ數ニ等シキ員數ノ一般青壯年タル女子ノ其ノ指定アリタル後六月以内ニ於テ爲ス雇入及就職ノ場合

第十條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項第九號ノ規定ニ依リ一般青壯年タル女子ヲ雇入セタル者ハ其ノ員數ヲ同號所定ノ期間滿了後五日以内ニ其ノ者ノ使用場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ届出ツベシ

第十條ノ二 厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ禁止又ハ制限ノ指定ヲ爲シタル業種又ハ職種ニハ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定スル年月日以後ハ其ノ指定シタル禁止又ハ制限ノ範圍ヲ超エテ男子従業者ノ雇入、使用、就職又ハ従業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依

リ國民職業指導所長ノ認可アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
前項ノ規定ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ告示ニ依リ之ヲ爲ス

第十條ノ三 前項第一項但書ノ認可ノ申請ハ様式第三號ノ二ニ依リ

就職又ハ從業セントスル男子從業者及其ノ者ヲ輸入又ハ使用セン  
トスル者ノ通習ヲ以テ其ノ者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ  
他ノ場所ノ所在地ノ所屬國民職業指導所長ニ對シ之ヲ爲スベシ

第四條ノ規定ハ前項ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第十條ノ四 第十條ノ二ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ之

ヲ適用セズ

一 軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍屬ヲ含ム）トシテ戰傷其ノ他ノ  
公務ニ因リ傷損ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ固定シタル症狀恩給  
法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定ス

ハ該項ノ規定ニ準スルモノ

二 陸海軍ニ在リ又ハ召集セラレタル者ニシテ職業又ハ召集ノ所

際ニ因リ原職ニ復職シ未ダ其ノ地方職業又ハ召集ニ因リ車務ニ  
就シタル期間ハ其ノ期間一年以上ニ亘ル場合ニ在リテハ一年ト  
ス（區別セザルモノ）

三 年齢四十五年以上及十四年未満者

四 第五條第一項第二號又ハ第十條第一項第二號ノ規定ニ依ル認  
定アリタル者

第十條ノ五 第十條ノ二ノ規定ニ依ル地方長官ノ指定又ハ厚生大臣  
ニ於テ指定セザル業種又ハ職業ニ付當該地方ノ特殊事情ニ依リ必  
要ナル場合ニ依リ之ヲ爲スモノトス



女子勤勞動員ノ促進ニ關スル件

第一 方針

現下戦力ノ擴充上女子勤勞ニ期待スル所極メテ大ナリ。政府ニ於テハ女子勤勞ノ動員ニ付テハ既ニ夫々施策スル所アリ目下着々之ガ強化ヲ見ツツアルガ此ノ際特ニ時局ノ現段階ニ即應シ女子ノ特性ト其ノ民族力強化ノ使命トヲ勘案シツツ其ニ女子勤勞員健康ノ強化ヲ圖リ女子遊休努力ノ解消ヲ期スルト共ニ特ニ此ノ際必要ナル勤勞要員ヲ確保スル爲左ノ要領ニ依リ之ガ動員ヲ一段ト促進セシトス

第二 要領

- 一、女子ヲ動員スベキ職種ハ女子ノ特性ニ適應スルモノヲ廣ク選定スベキモ並當リ左ノモノニ付テハ各々所要員數ヲ具體的ニ調査シ優先充足スルコト
- (一) 航空機關係工場

- (二) 政府作業廠
- (三) 官廳及之ニ準ズベキモノ(特ニ男子徵用ニ依リ補充ヲ要スルモノ)
- (四) 男子就業ノ制限又ハ禁止ニ依リ女子ノ補充ヲ要スルモノ
- 二、動員ノ對象タル女子ハ概ネ左ノ如クスルコト
- (一) 新期學校卒業者
- (二) 十四歳以上ノ未婚者
- (三) 整備セラルベキ不急不憂學校在學者
- (四) 企業整備ニ依ル轉職可能者
- 三、女子勤勞ノ態様トシテハ従前ノモノニ依ルノ外新ニ女子勤勞挺身隊(假稱)ヲ自主的ニ組織セシメ相當ノ指導者ノ下ニ團體的ニ長期(整備リ一年乃至二年)出動ヲナサシムルノ制度ヲ採用スルコト
- 四、女子動員促進ノ方法トシテハ従前ノ方式ニ依ルノ外左ノ要領

ニ依ルコト

(一) 都府縣指導ノ下ニ市區町村長ヲシテ極力其ノ就職ノ勸奨ニ務ムルコト

右ノ場合ニ於テハ町内會、部落會、隣組、婦人會、學校長等ヲシテ積極的ニ協力セシムルコト

(二) 學校卒業者ヲ以テスル女子挺身隊ニ付テハ都府縣指導ノ下ニ學校長等ヲ中心トシテ結成セシムルヤウ指導スルコト

(三) 食料増産ニ必要ナル農村女子勞力ハ之ヲ確保シ置クコト

五 女子動員ノ實效ヲ舉グル爲皇國本來ノ家族制度ト女子ノ特性トヲ考慮シ特ニ風紀ノ堅持、品位ノ向上、保健等ニ留意シ概ネ左ノ方針ニ依リ女子勤勞管理ニ一段ノ創意ト工夫ヲ凝シ之ガ刷新強化ヲ圖ルコト

(一) 寄宿舍其ノ他適當ナル收容施設アルモノヲ除キ自宅通勤者ニ限定スルコト

(二) 女子從業員ノ爲更衣室、洗面所、便所等ハ男子從業員ト區分シテ之ヲ設ケシムルコト

(三) 女子從業員ノ爲寄宿舍ヲ設置スル場合ニ於テハ男子ト別個所ニスルノ外寄宿舍管理ヲ家庭的ナラシムルト共ニ設備ニ付特ニ女子ノ特質ヲ考慮セシムルコト

(四) 女子ノ能力及經驗ニ應ジ責任ヲ持タシムル如ク職場配置ヲ考慮セシムルト共ニ其ノ地位昇進ノ途ヲ開カシムルコト

(五) 女子ノ就業時間、休憩時間就業及終業ノ時刻、休日等ニ付特段ノ配慮ヲ爲サシムルト共ニ其ノ通勤ニ付所要ノ措置ヲ講ズルコト

(六) 女子ノ賃金水準引上ノ爲賃金統制上所要ノ措置ヲ講ズルコト

(七) 女子從業員ノ配置ニ際シテハ其ノ資質ヲ均一ナラシムルヤウ務ムルト共ニ可及的ニ女子從業員ノミニテ作業セシムル職

場作業方式等ニ付工夫スルコト

(八) 女子ノ多數勤務スル職場及女子寄宿舎ニハ適當ナル女子指導者ヲ設クルコト

(九) 女子従業員ニ對シテハ必要ナル基礎訓練並ニ簡易ナル技能教育ヲ授ケ能率増進ニ資セシムルコト

(十) 女子従業員ニハ家庭ノ主婦トシテノ心得其ノ他女子トシテノ職ニ必要ナル施設ヲ爲シ修養ヲ怠ラシメザルコト

(十一) 女子挺身隊ニ付テハ確實ナル團體的管理及隊員保護ノ方途ヲ講ズルコト

六 常時要員ノ動員確保ノ外女子勞力ノ全面的戰力化ヲ圖ル爲家事勞力ニ付テハ更ニ極度ノ壓縮ヲ加ヘ之ヲ國民共同勤務施設ニ動員スルコト

七 五ニ掲ゲタル勤務管理刷新事項ノ外左ニ掲グル事項ニ付特ニ考慮スルコト

(一) 文部省ニ於テハ高等女學校及女子專門學校在學中ニ於テ必要ナル職業知識ヲ授クルト共ニ特ニ必要ナル輔導ヲ要スル作業ノ爲輔導施設ノ擴充ヲ圖ルコト

(二) 託兒所ノ設置、妊娠婦家庭患者等ノ爲ニスル女子勤務組織ノ整備等女子勤務動員上必要ナル特別ノ考慮ヲ拂フコト

(三) 物資配給等ニ因由スル生活荷重ヲ輕減スルノ方途ヲ講ジ一設家庭婦人ヲシテ生産増強ニ挺身シ易ラシムルコト

(四) 女子指導者(女子勤務管理者、女子現場係員、寮母、媒娼等ヲ含ム)養成ノ爲必要ナル措置ヲ講ズルコト

八 其ノ他

(一) 女子ノ戰時意識並ニ勤勞報國精神ノ昂揚ヲ圖リ併セテ本要綱ノ趣旨ヲ一般國民及指導者層ニ滲透セシムル爲大政翼賛會ヲ中心トシテ大日本婦人會、大日本青少年團等關係團體協力ノ下ニ一大國民運動ヲ展開セシムルコト特ニ家庭側就中母親

ノ理解協力ヲ得ルノ方途ヲ講ズルコト

(二) 文部省ニ於テハ國民學校及高等女學校ニ對シテ特ニ女子勤

勞動員ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲特別ノ考慮ヲ拂フコト

(三) 本<sup>件</sup>實施ノ爲必要ナル女子勤勞者用物資、~~施設~~、資材等

ニ付テハ極力既存ノモノ、活用ヲ圖ルト共ニ已ムヲ得ザルモ

ノニ付テハ之ガ確保ニ付特別ノ考慮ヲ爲スコト

裏面白紙

書記官長



昭和十八年九月二十八日

内閣府甲第三〇四號

内閣書記官長



書記官

各省大臣  
樞密院書記官長  
會計院書記官長  
行政裁判所書記官長  
貴族院書記官長  
衆議院書記官長

(各通)

意

官廳執務ノ件

及ビ候



一〇

主事



秘書課  
庶務課  
會計課



官廳執務ノ件

一、出勤時刻ノ嚴守

(1) 各廳長官以下全廳員ハ必ず執務開始時刻迄ニ出勤スルコト。

(2) 前ニ出勤時刻ニ遅レタル者ニ對シテハ懲罰ノ方途ヲ講ズルコト。

二、土曜日半休ノ廢止

土曜日ノ執務時間ヲ平日ト同様ナラシムルコト。

三、官廳機能ノ常時運行ノ爲ノ措置

(1) 各廳ニ於テハ平日ハ退廳時間後ト雖モ午後七時迄若干ノ職員ヲ交代執務セシムルコト。

(2) 夜間及日曜日、祝祭日、其ノ他官廳ノ休暇日ト雖モ有力ナル高等官

ノ率ユル宿直員ヲシテ交代宿直セシメ以テ外部トノ連絡ヲ確保シ且官廳ノ執務ヲシテ斷續ナカラシムルト共に官廳防衛ニ關シテ迅速ナキチ期スルコト。尙之ト共に何時ニテモ必要ナル職員ヲ招集シ得ベキ組織ヲ確立シ以テ事務ノ必要ニ應ジテ官廳ガ活動シ得ベキ態勢ヲ整フルコト。

(3) 國民ニ直接接スル第一線官廳ノ業務ニ付イテハ特に夜間、日曜日、祝祭日、其ノ他官廳ノ休暇日ト雖モ國民ノ要求ニ應ズル如キ態勢ヲトルコト。

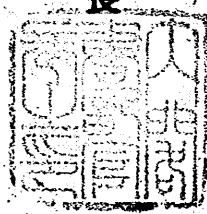
裏面白紙

内閣閣甲第三〇五號

昭和十八年九月二十八日

書記官長

内閣書記官長



書記官長

各省大臣  
樞密院書記官長  
會計院書記官長  
行政裁判所長官  
貴族院書記官長  
衆議院書記官長

(各通)



官廳ノ地方疏開ニ關スル件

標記ノ件本日別紙ノ通閣議決定相成候條命ニ依リ通牒ニ及ビ候

百十一



官廳ノ地方移轉ニ關スル件

一 移轉スベキ官廳ハ閣議ニ於テ決定スルコト

二 移轉ニ當リ特ニ注意スベキ事項左ノ如シ

（一）移轉スル官廳ハ特ニ人員ヲ減少スルコト

（二）移轉スル官廳ニ於テハ特ニ保管物件ヲ整理減少スルコト

（三）出來得ル限り移轉先ノ人ヲ採用スルコト

（四）移轉先ニ於テハ官廳ハ必ズ現存建物ヲ利用スルコト

（五）移轉實施ノ爲建物ノ新築ハ極力之ヲ避クルコト

一 移轉實施ノ爲内閣總理大臣ノ管理ノ下ニ左記ノ者ヲ以テ實行本部ヲ

組織シ順序ヲ立テテ各處ノ準備ヲ整ヘシメ出來得ル限り速ニ且強力

ニ實施スルコト

記

内閣事務官長

企畫院次長

企畫院第一部長

内務省地方局長

大蔵省主計局長

鐵道省參事局長

内閣官房總務課長